

委員会視察成果報告書

令和7年12月22日

犬山市議会
議長 大沢 秀教 様

議員名 柴 山 一 生

下記のとおり、視察の成果を報告いたします。

(1) 視察年月日	令和7年12月17日(水)
(2) 視 察 地	寺澤ファーム
(3) 視察の種類	常任委員会（建設経済委員会）
(4) 視 察 成 果 (視察地ごとに記入)	別紙のとおり
(5) 犬 山 市 に 対する提言	別紙のとおり



視察報告書

令和7年12月22日

視察先：寺澤ファーム

視察団体：建設経済委員会

視察日時：令和7年12月17日

視察内容：AI やドローンを使った現在の農業

畑議員の紹介で安楽寺の寺澤ファームを見学させていただいた。現在の農業はほんの10年前との農業とは大違いで、AI やドローンが大変活躍している。AI は特に病害虫が発生する時期を気候のデータをもとにかなり正確に予測し、殺虫剤を噴霧する時期を示してくれる。また、ドローンはかつて地上から行っていた噴霧作業を上空から正確に適切にしかも大変迅速に噴霧できるようにしてくれた。

また、追肥もかつてはあまりできなかったが、今では、AI で施肥すべき場所をピンポイントで示し、ドローンで施肥ができるようになり収穫量も飛躍的に伸びた。

42ヘクタールもの農地を基本的には寺澤父子二人で管理している。息子さんは、まだ、41歳で大変有望な農業者。6年ほど前からお父様と力を合わせ新しい農業を始められた。



コメは収穫してからすぐに乾燥しなければいけないそうで、自前の乾燥機や大きな倉庫をしつらえたが、行政の補助金なしに手当てしたそう。なぜかと言えば、行政がらみのお金はあまりにも手続きが煩雑であるという事だった。

行政への何か要望があるかを聞くと、市内約40キロの排水路の除草を市に責任もってやっていただきたいという事だった。この排水路の所有者で管理者は市であるので当然それは必要なことだ。

犬山市への提言

- ①使いやすい助成制度を開発すべき。
- ②排水路を整備すること。